

「郡内織物」を利用してオリジナル卒業証書カバー制作

西桂織物工業協同組合

西桂織物工業協同組合（武藤英之理事長 組合員数 14 社）では、「郡内織物」を使用した卒業証書のカバーを、西桂小学校・西桂中学校の卒業生向けに作製し、2024年2月20日（火）に西桂小学校、21日（水）に西桂中学校にて納品式を実施した。

組合は、郡内地域の伝統産業である織物業を維持発展させるため、日頃から様々な事業に取り組んできた。その中で、若手組合員から織物産地を守り継承していくためには「これまで以上に地域に寄り添った活動が必要ではないか」



西桂中の生徒に卒業証書カバーを手渡した

「織物という伝統産業を通じて地域貢献に取り組みたい」という意見が上がった。

意見集約から検討を重ね、地域の子供たちの「卒業」という節目に花を添えようという案がうまれ、西桂町の教育委員会にも打診、初めての試みとして郡内織物で卒業証書カバーを作製するプロジェクトが立ち上がった。

デザインは、児童・生徒たちが実際に感じている学校や西桂町に対する思いやイメージを表現することが重要だと考え、西桂町在住のテキストスタイルデザイナー・吉本悠美さんに協力を依頼、生地製織は組合に加盟する(株)榎田商店が担い、実際に作製している工場の見学等も実施する中で、児童・生徒たちの思いをそのまま形にした至高の製品が完成した。

納品式後、子供たちは「とても綺麗で、卒業式の日に貰うのが楽しみです」と喜んだ。

今回のプロジェクトリーダーを務めた井上秀樹専務理事は、「将来大人になった際に、故郷を思い出させてくれる、そんな思い出の品になれば良いと思います。次年度以降も引き続き継続していきたいです。」と語った。



担当：保坂